

論文審査結果報告書

論文提出者氏名 片岡 正太

学位論文題目 Relationship between Tungusic Chinese ethnic minorities and Okhotsk cultural people in dental metric trait.

審査委員

(主査) 瀬田 祐司

(副査) 川元 龍夫

(副査) 松尾 拡



論文審査結果の要旨

本研究では、オホーツク文化期人の起源を考察するために、中国ツングース系少数民族とオホーツク文化期人の歯牙計測値を比較したものである。

中国ツングース系少数民族のホジェ族・エベンギ族の石膏模型から、歯冠近遠心径と頬舌径を測定し、これまでに報告されているアジアの集団との間で統計的解析を行った。その結果、歯冠総面積からは極北アジア集団は、アイヌを含む縄文形質の強い集団よりも大きな値を示した。さらにホジェ族・エベンギ族は北方アジア集団の中でも比較的大きな値を示し、シノドントに分類されることが分かった。模型の上下顎の切歯・犬歯・小臼歯・大臼歯の測定値を用いて、7集団の偏差折線を作成して、各集団と比較を行った。その結果、ホジェ族はオホーツク文化期人のものと近似した偏差折線となった。歯冠の全計測項目において集団間の類似度行列を算出し、クラスター解析により各集団のデンドログラムを作成した結果、アジア集団は2つのクラスターに分類された。さらに類似度行列を多次元尺度構成法により2次元・3次元の散布図を作成した。両散布図からはアジア集団は2つの集団に分類され、続縄文・擦文、オホーツク文化期のみ別の集団に分類された。以上の結果から、ホジェ族・エベンギ族にオホーツク文化期人との間に直接的な近縁性は認められなかったが、部分的な近縁性は認められた。

本研究は、歯冠計測を用いて、中国ツングース系少数民族のホジェ族・エベンギ族とオホーツク文化期人との関連性を検索したもので、人類学的に有意義な論文である。公開審査において行った質疑応答に対して、申請者から十分な回答が得られた。以上のことから、審査委員会では本研究が学位論文に十分に値すると判断した。